

ビンゼレックス® による治療を受ける方へ

医薬品リスク管理計画
(RMP)

本資料は医薬品リスク管理計画に基づき作成された資料です
(その他適正使用情報を含む)

自己注射ガイドブック



Inspired by patients.
Driven by science.

自己注射をはじめる患者さんへ

ビンゼレックス®は、患者さんの生活スタイルや体の状態を考慮し、簡単に自己注射できるよう工夫がされています。

ビンゼレックス®は皮下に注射するお薬で、「オートインジェクター」と「シリンジ」の2種類のタイプがあります。本ガイドブックでは、ビンゼレックス®を安全に正しく自己注射するための手順とポイントを解説しています。

本ガイドブックを読んでわからないことがある場合は、主治医や看護師、薬剤師までおたずねください。

重要な注意事項

自己注射を安全に正しく行うにあたり、実際に注射される方が、主治医から十分な説明を受けた後、主治医や看護師、薬剤師による指導のもと、注射方法を練習します。自己注射の手技を取得したと主治医が判断したら、自己注射を開始します。ビンゼレックス®治療中は必ず注意事項を守ってください。

目次

剤形 / 自己注射開始までのステップ	5
投与スケジュール	6
正しく安全な自己注射のための留意事項	10
副作用 RMP	11
保管方法	12
注射する部位	13
注射の準備	14

オートインジェクター

ビンゼレックス®皮下注160mg、320mg オートインジェクターの特徴	16
キャップの外し方	17
注射方法【お腹に注射する場合】	18
注射方法【太ももに注射する場合】	21
本人以外が注射する場合	23
後片付け	25

シリンジ

ビンゼレックス®皮下注 160mgシリンジの特徴	26
キャップの外し方	27
注射方法【お腹に注射する場合】	28
注射方法【太ももに注射する場合】	30
本人以外が注射する場合	32
後片付け	34

注射の痛みを和らげる方法	35
--------------	----

自己注射に関するQ&A

Q & A	36
-------	----

本資材は、医薬品リスク管理計画に基づく内容を含む資材であり、追加のリスク最小化活動に基づく内容に該当する箇所にマークを付与しています。

剤形/自己注射開始までのステップ

● 剤形

オートインジェクターとシリンジの2種類の剤形があります。
また、オートインジェクターには160mg製剤と320mg製剤があります。

オートインジェクター



160mg製剤



320mg製剤

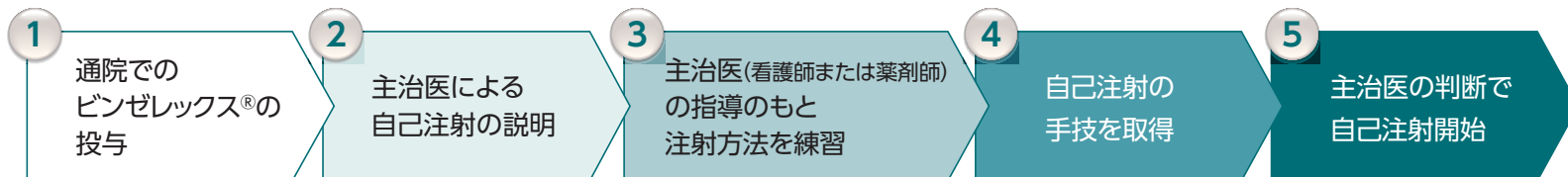
シリンジ



160mg製剤

● 自己注射開始までのステップ

自己注射の開始は、次のステップにしたがって行います。



- 練習期間や回数は患者さんによって異なります。
- この間は、通院しながら主治医や看護師、薬剤師と一緒にビンゼレックス®を自己注射します。
- 自己注射を行えるかどうかは主治医の判断によります。また、自己注射について理解し、確実に注射を行えるように、医療従事者による教育訓練を受ける必要があります。

投与スケジュール

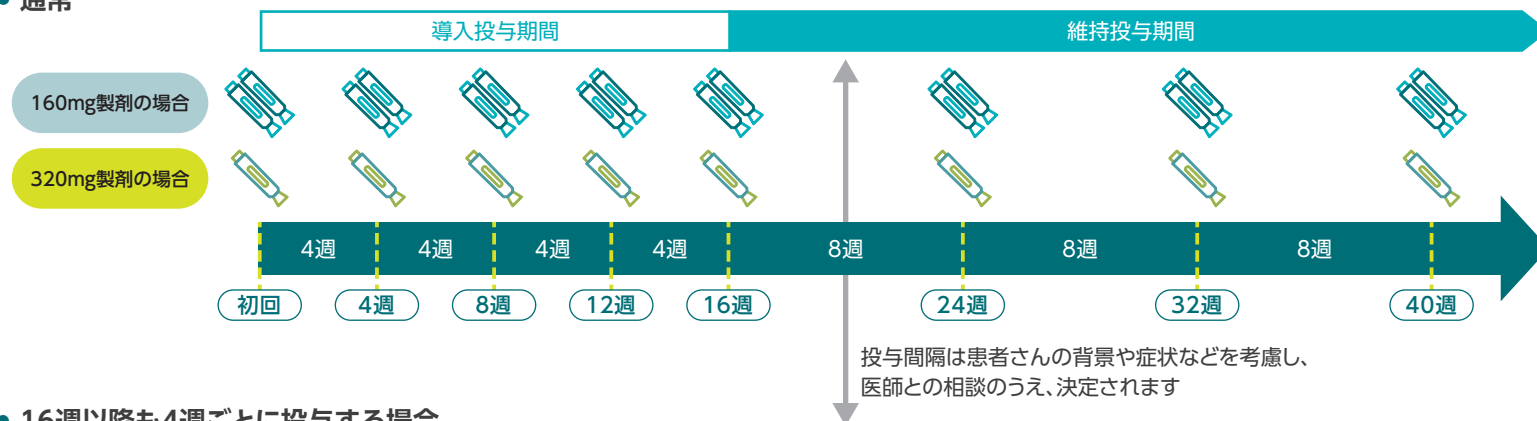
<尋常性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症>

● 通常、1回320mg (160mg製剤2本または320mg製剤1本) を初回から16週までは4週ごとに皮下注射し、以降は8週ごとに皮下注射します。

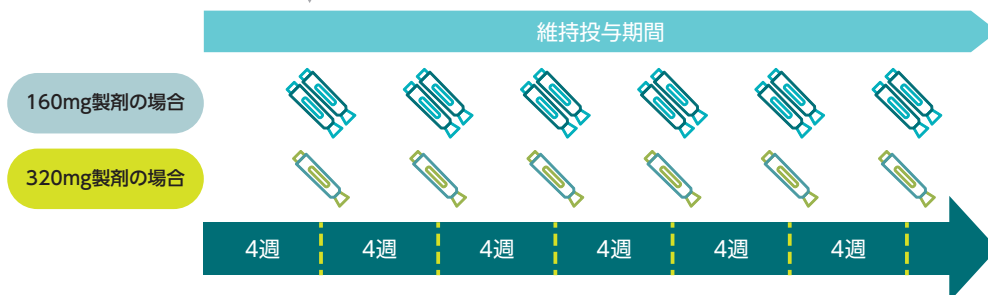
● 自己注射は、4週ごとに投与する場合のみ可能です。

※患者さんの状態によっては、16週以降も4週ごとに皮下注射する場合があります。

● 通常



● 16週以降も4週ごとに投与する場合

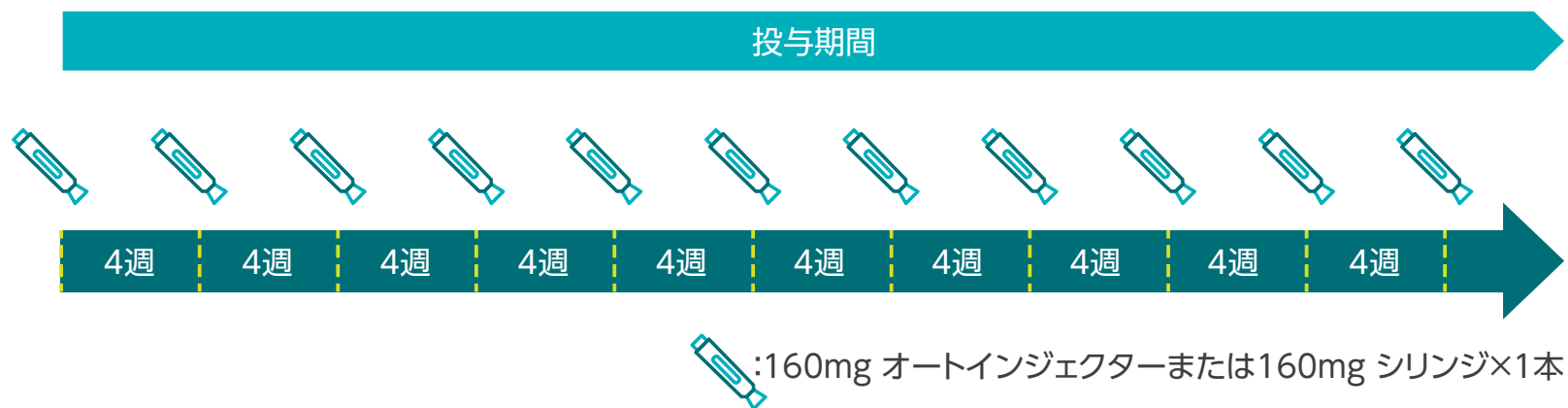


: 160mg オートインジェクターまたは160mg シリンジ×2本 : 320mg オートインジェクター×1本

投与スケジュール

<乾癬性関節炎>

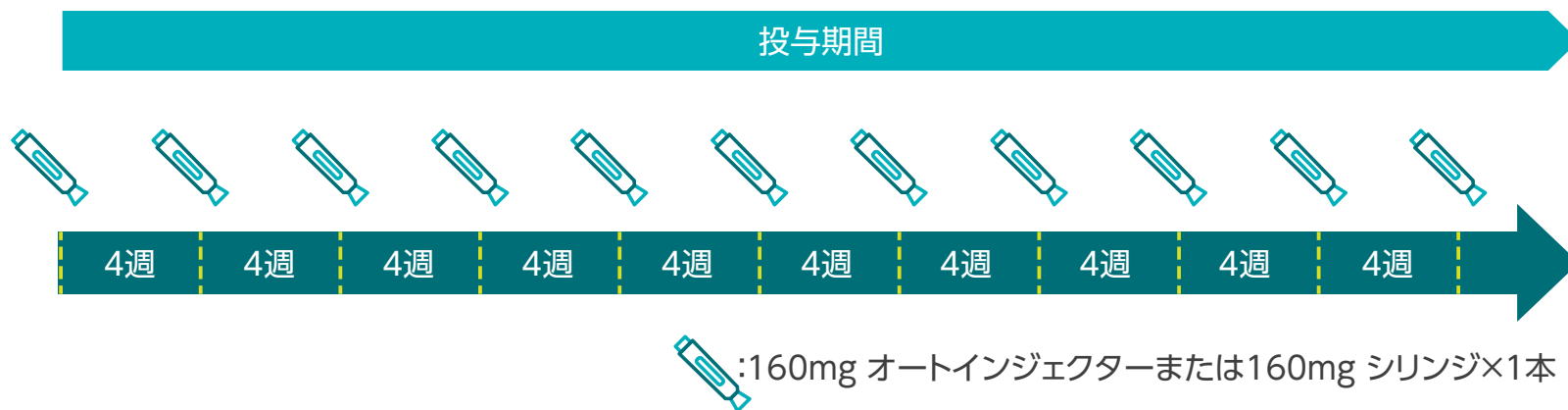
● 通常、1回160mg (160mg製剤1本) を4週ごとに皮下注射します。



投与スケジュール

<強直性脊椎炎、X線基準を満たさない体軸性脊椎関節炎>

- 通常、1回160mg (160mg製剤1本) を4週ごとに皮下注射します。



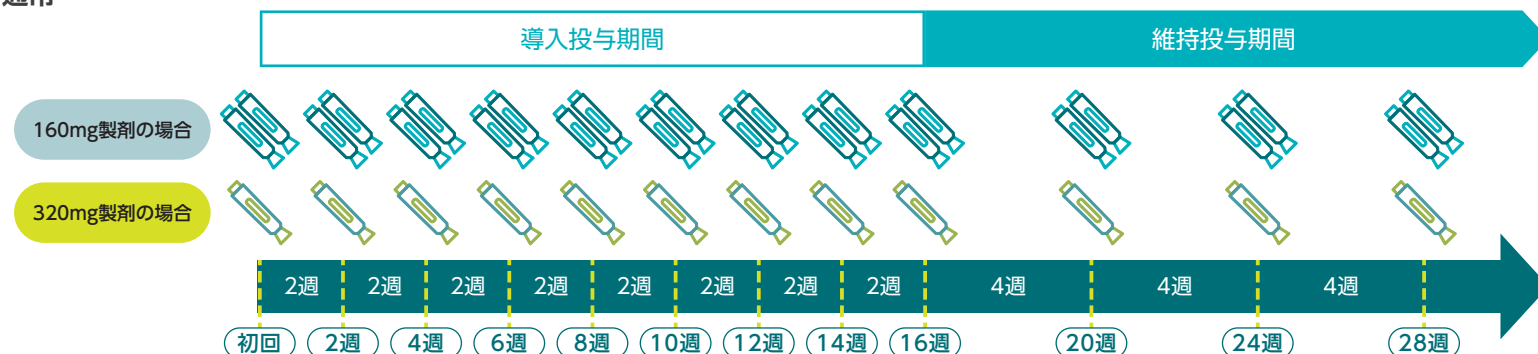
投与スケジュール

<化膿性汗腺炎>

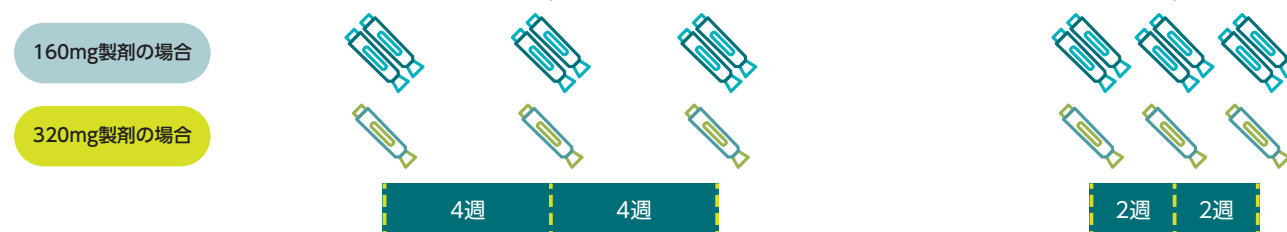
- 通常、1回320mg (160mg製剤2本または320mg製剤1本) を初回から16週までは2週ごとに皮下注射し、以降は4週ごとに皮下注射します。

※患者さんの状態によっては、2週ごとまたは4週ごとに投与間隔を適宜変更する場合があります。

● 通常



患者さんの状態によっては、2週ごとまたは4週ごとに投与間隔を適宜変更する場合があります。



 : 160mg オートインジェクターまたは160mg シリンジ×2本  : 320mg オートインジェクター×1本

正しく安全な自己注射のための留意事項

- 自己注射を安全に正しく行うためには、実際に注射される方が主治医から十分な説明を受けた後に、主治医や看護師、薬剤師による指導のもと、注射方法を練習する必要があります。
- 自己注射の手技を取得し、自宅で自己注射を開始できるかどうかは、主治医が判断します。
- いったん自己注射を開始しても、次のような場合には途中で通院注射に切り替わる場合があります。

患者さんが通院注射への変更を希望した場合

主治医が通院注射が望ましいと判断した場合

- 自己注射を適切に行えないなど、主治医が自己注射の練習が再度必要と判断した場合には、通院注射に切り替え、再度、主治医や看護師、薬剤師の指導のもと練習を受けていただくことがあります。
- 自己注射がうまく行えない場合やわからないことがある場合は、必ず主治医や看護師、薬剤師にご相談ください。

副作用

国内または海外で確認されているビンゼレックス®の主な副作用は、以下のようなものがあります。

口腔カンジダ症

免疫力の低下や口腔内の状態が悪いことで、常在している真菌であるカンジダが異常に増えることで起こります。口腔内や舌の痛み、白い苔のようなものが付着したり、味覚異常などの症状がみられます。

上気道感染・鼻咽頭炎

多くはウイルスが鼻咽頭から咽頭粘膜に付着することで感染が起こります。

鼻水、くしゃみ、鼻づまり、のどの痛みなどの症状がみられます。

過敏症反応

頻度は低いものの、薬剤に対するアレルギー反応としてアナフィラキシー（血圧低下、呼吸困難など）、アトピー性皮膚炎などを起こす可能性があります。



以下のような症状に気が付いたら、速やかに主治医や看護師、薬剤師へご連絡ください。

- 口の中の痛み、舌の痛み、味覚異常
- 発熱、咳、鼻水、のどの痛み、頭痛、悪寒など、風邪のような症状の継続
- 皮膚に今までとは違う発疹（じんましんなど）、かゆみ
- 息苦しさ
- 冷や汗、動悸
- 体のだるさ
- 腹痛、下痢、粘液や血が混ざった便
- 体重減少、食欲減退
- 肛門の違和感や痛み、膿

保管方法

使用期限を過ぎている場合は使用しないでください。



医療機関で受け取ったお薬は注射をするときまで、光の影響を防ぐため外箱のまま、凍結を避けて冷蔵庫（2～8℃）で保管してください。
チルド室、野菜室、冷気の吹き出し口付近は凍結するおそれがありますので入れないでください。
ご家族の方にも冷蔵庫内にお薬（注射器）があることを説明し、取り出したりしないように伝えておきましょう。



冷凍庫に保管して凍結させたり、直射日光の当たる場所や高温多湿の場所には置かないようにしてください。
お薬が変性してしまうおそれがあります。



お子様の手の届かない場所に保管してください。

※ご家族にお薬（注射器）であることを説明してください。

お子様が誤って使用したり、取り出したりしないよう、取り扱いにはご注意ください。



外出時や病院からの運搬時には、保冷バッグを使用し、冷蔵庫に保存してください。



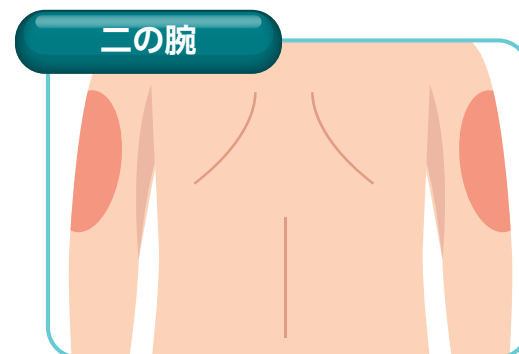
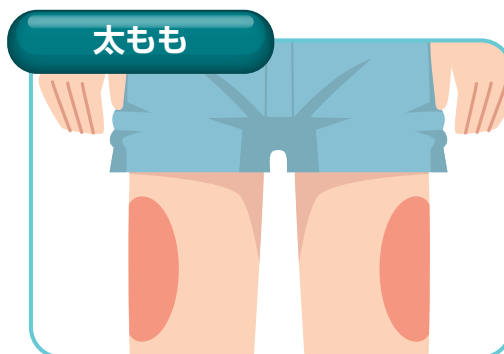
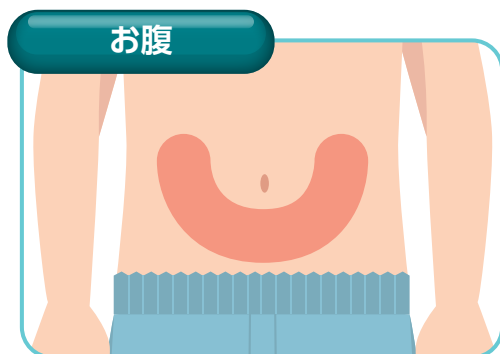
＊冷蔵庫から取り出した場合は、光の影響を防ぐため、お薬を外箱のまま25℃以下で保管し、使用期限を超えない範囲で30日以内に使用し、再び冷蔵庫に戻さないようにしてください。
冷蔵庫から取り出した日付を外箱に記載しておくようにしてください。

注射する部位

※注射する部位は主治医や看護師、薬剤師に確認して進めてください。

- オートインジェクターとシリンジの注射部位は同じです。
- 患者さん本人が注射する際はお腹または太ももに注射してください。
- 本人以外が注射する際は二の腕にも注射可能です。

※本人以外が注射する場合でも、
注射方法の指導を必ず受けてください。



へその周囲(約5cm)は避けてください。



- 1回の投与で2本打つ場合には、1本目と2本目の注射箇所は少なくとも3cm離してください。
- 前回とは違う箇所に注射してください。
- お腹に注射する際はへその周り5cm以内は避けてください。
- 皮膚症状(赤み、発疹、フケのようにポロポロと剥がれ落ちる状態、皮膚が少し盛り上がっている、硬くなっているなど)やケガ、痛みがある部位は避けてください。
- アルコール綿にかぶれる場合は、主治医や看護師、薬剤師にお伝えください。

注射の準備①

① 冷蔵庫から取り出し、箱のまま30分以上
平らな面に置き、室温に戻します。



- 室温に戻す際は、電子レンジや温水を使用して本剤を温めないでください。
- 本剤を振らないでください。

② 明るく平らな場所を確保し、テーブルの上を清潔にしておきます。

③ 手を石鹸で十分に洗います。

④ 注射器を箱から取り出します。



- 注射する直前までキャップは外さないでください。
- 再度キャップはしないでください。

オートインジェクター

160mg製剤

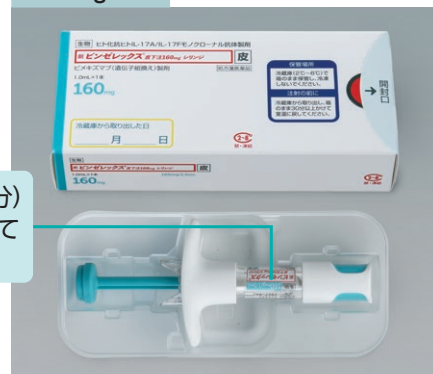


320mg製剤



シリンジ

160mg製剤



注射筒(ラベル部分)
を持って取り出して
ください。

※オートインジェクターとシリンジは、どちらも1つの箱に1本ずつ入っており、1回使い切りです。
写真の箱と注射器の向きは、実際の包装に合わせています。

注射の準備②

⑤ 投与前に内容物を目視により確認します。

- 注射液が変色している場合は使用しないでください（注射液は本来、無色、淡い褐黄色の澄明、またはわずかに濁りのある淡い褐黄色です）。
- 内容物中に明らかな粒子や混濁が認められる場合には使用しないでください。
- オートインジェクターやシリンジにひびや損傷がみられる場合は使用しないでください。
- 硬いところに落とした場合は使用しないでください。
- 本剤を投与する準備ができるまでキャップを外さないでください。



- 万一、異常が見つかった場合は、注射をする前に主治医や看護師、薬剤師に必ず連絡してください。
- 注射当日に体調の悪い場合は、注射前に主治医に相談してください。

ビンゼレックス®皮下注160mg、320mg オートインジェクターの特徴

160mg製剤

ボタンのない構造

ボタン操作が不要なので
簡単に注射ができます。

薬液確認窓

薬液の注入が完了すると、
窓の色が黄色になります。

2回の確認音

注入の開始と終了を
音でお知らせします。

キャップを外した先端部



キャップ

ニードルガード

針先が見えないニードルガード

針先が見えないようカバーされているため、
注射が苦手な方でも安心。

320mg製剤

ボタンのない構造

ボタン操作が不要なので
簡単に注射ができます。

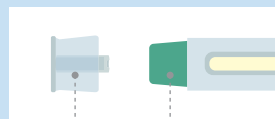
薬液確認窓

薬液の注入が終了間近になると、窓の色が黄色になります。

2回の確認音

注入の開始と終了を
音でお知らせします。

キャップを外した先端部



キャップ

ニードルガード

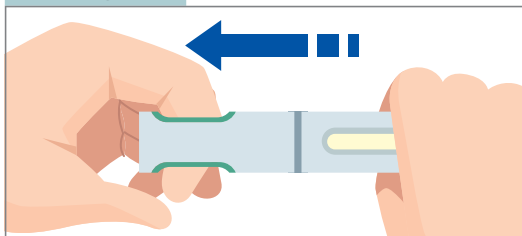
針先が見えないニードルガード

針先が見えないようカバーされているため、
注射が苦手な方でも安心。

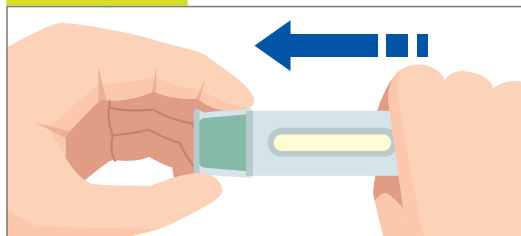
キャップの外し方

片手でハンドルをしっかり握り、もう片方の手でキャップを取り外します。

160mg製剤



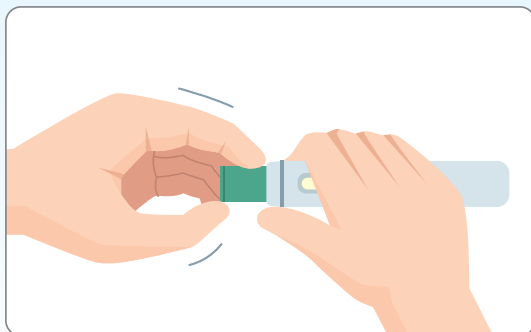
320mg製剤



【参考】その他のキャップの外し方

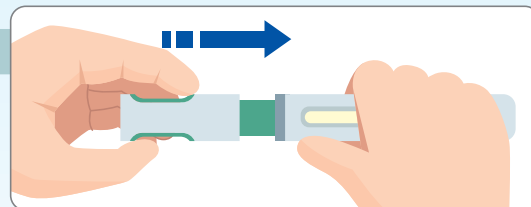


❗ キャップを外す際の注意点

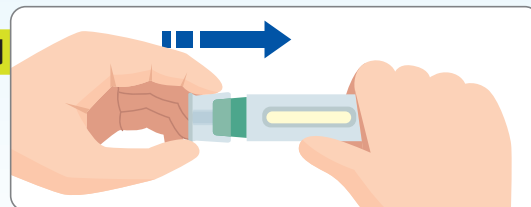


✗ 先端部（ニードルガード）に触れないようにしてください。

160mg製剤



320mg製剤

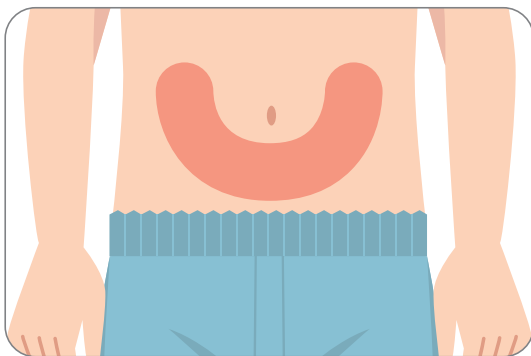


✗ 一度外したキャップを元に戻さないでください。

注射方法【お腹に注射する場合】①

● 注射部位

イスなどに座って、リラックスした姿勢をとります。



へその周囲（約5cm）は避けてください。

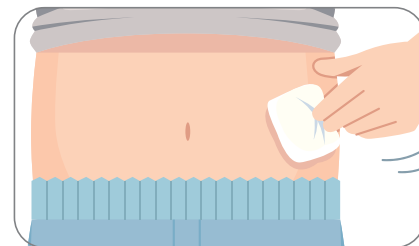
● 注射方法

- 前回とは違う箇所に注射してください。
- 1回の投与で2本打つ場合には、1本目と2本目の注射箇所は少なくとも3cm離してください。

① 注射部位（皮膚）をアルコール綿で消毒

中心から外側に向かって円を描くように拭き、よく乾燥させます。

消毒した場所は注射するまで触れないようにしてください。



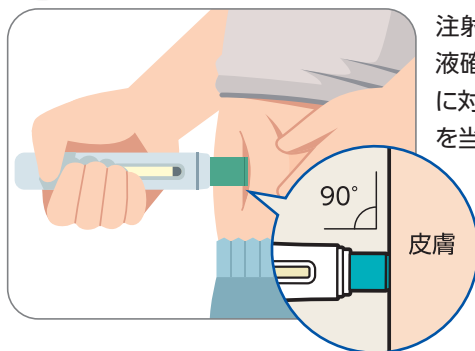
② 安全・清潔にキャップを外す

オートインジェクターのハンドルを片手でしっかり握り、もう片方の手でキャップを取り外します。

キャップを外したら、なるべく早く注射します。

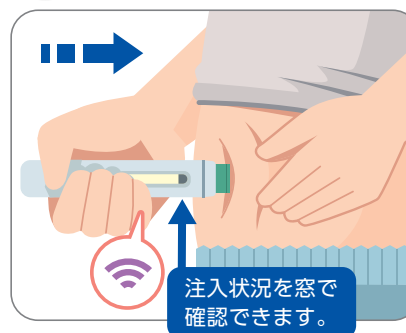
注射方法【お腹に注射する場合】②

3 当てる



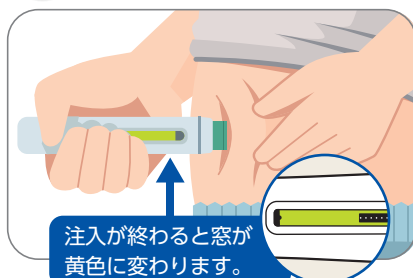
注射部位の皮膚を軽くつまみ、片方の手で薬液確認窓が見えるようにハンドルを握り、皮膚に対して90度の角度で先端部（ニードルガード）を当てます。

4 押し込む



注射部位に対してまっすぐオートインジェクターを押し付けると確認音が鳴り、薬液の注入が開始されます。

5 待つ



160mg製剤

注入完了

320mg製剤

さらにオートインジェクターを押し付けたまま、ゆっくり5秒数えたら注入完了

160mg製剤

15秒以内に注入が完了すると2回目の確認音が鳴ります。薬液確認窓が黄色に変わったら注入完了です。

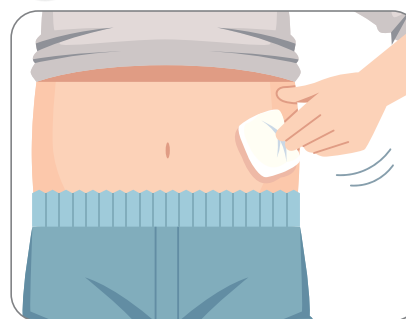
320mg製剤

注入開始から15秒以内に2回目の確認音が鳴り、薬液確認窓が黄色に変わります。その後もオートインジェクターを押し付けたまま、ゆっくり5秒数えたら注入完了です。

注入完了を確認したら、注射部位からオートインジェクターをまっすぐ引き抜きます。針刺し防止のため自動的にニードルガードが針を覆います。

注入が完全に完了するまで体から離さないでください。

6 軽くおさえて止血を確認



アルコール綿で注射箇所を数秒間軽くおさえます。
止血していることを確認して、注射は終了です。

注射したところは揉まないでください。

注射方法【お腹に注射する場合】③

- 主治医や看護師に皮膚の状態をみてもらい、患者さんそれぞれの皮膚にあわせて、のばしたり、つまんだりしながら注射します。

のばして打つ



注射部位にたるみがある方は、のばして打ってください。

立って打つ



立って打つことにより、お腹に張りができ、打ちやすくなります。

つまんで打つ



皮下脂肪が少ない（注射部位をつまんだとき指と指の幅が2cm以上ない）方は、注射部位をつまんでください。

両手で打つ

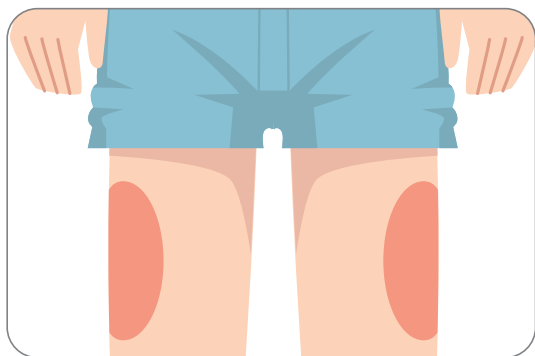


関節に症状がある方や握力がない方は、両手で打ってください。

注射方法【太ももに注射する場合】①

● 注射部位

イスなどに座って、リラックスした姿勢をとります。



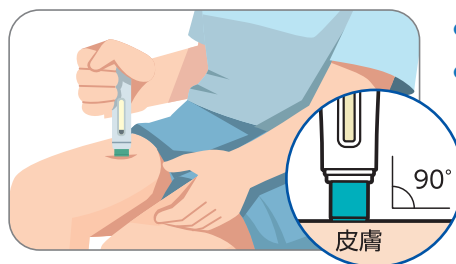
膝上から5cm、足の付け根から5cmの部分は避けてください。

● 注射方法

① 注射部位（皮膚）をアルコール綿で消毒

② 安全・清潔にキャップを外す

③ 90度の角度で当てる



- 前回とは違う箇所に注射してください。
- 1回の投与で2本打つ場合には、1本目と2本目の注射箇所は少なくとも3cm離してください。

注射方法【太ももに注射する場合】②

4 押し込む



皮下脂肪が少ない（注射部位をつまんだとき、指と指の幅が2cm以上ない）方は、注射部位をつまんでください。

注射部位に対してまっすぐオートインジェクターを押し付けると確認音が鳴り、薬液の注入が開始されます。

5 待つ



160mg製剤

15秒以内に注入が完了すると2回目の確認音が鳴ります。薬液確認窓が黄色に変わったら注入完了です。

320mg製剤

注入開始から15秒以内に2回目の確認音が鳴り、薬液確認窓が黄色に変わります。その後もオートインジェクターを押し付けたまま、ゆっくり5秒数えたら注入完了です。

注入完了を確認したら、注射部位からオートインジェクターをまっすぐ引き抜きます。針刺し防止のため自動的にニードルガードが針を覆います。

注入が完全に完了するまで体から離さないでください。

6 軽くおさえて止血を確認



アルコール綿で注射箇所を数秒間軽くおさえます。

止血していることを確認して、注射は終了です。

注射したところは揉まないでください。

本人以外が注射する場合①

● **注射部位・注射方法** 本人以外が注射をする場合でも、注射方法の指導を必ず受けてください。

① 注射部位（皮膚）をアルコール綿で消毒

② 安全・清潔にキャップを外す

③ 90度の角度で当てる

④ オートインジェクターを持つ手とは反対の手で皮膚をしっかりとつまむ

- 前回とは違う箇所に注射してください。
- 1回の投与で2本打つ場合には、1本目と2本目の注射箇所は少なくとも3cm離してください。

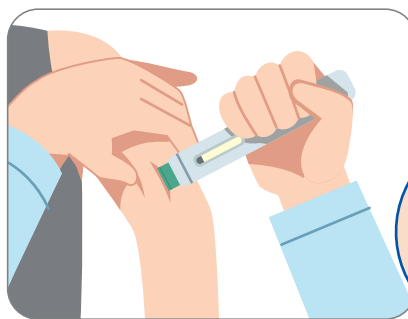


- 腕を直角に曲げて、もう片方の手で支えます。または腰に手を当てて腕を安定させます。
- 肩の先から肘の先を3等分し、肘側から1/3あたりが注射部位です。
- 二の腕の後ろ側に注射します。

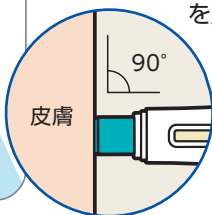
本人以外が注射する場合②

● 注射方法【二の腕に注射する場合】

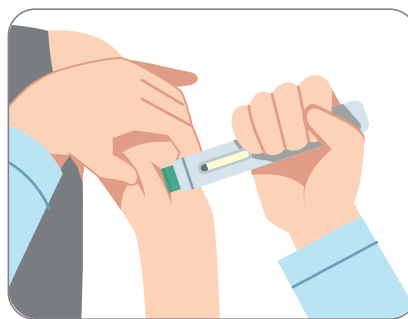
1 当てる



注射部位の皮膚を軽くつまみ、片方の手で薬液確認窓が見えるようにハンドルを握り、皮膚に対して90度の角度で先端部（ニードルガード）を当てます。

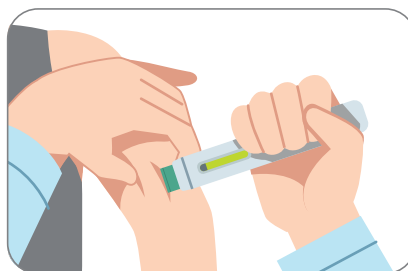


2 押し込む



注射部位に対してまっすぐオートインジェクターを押し付けると確認音が鳴り、薬液の注入が開始されます。

3 待つ



160mg製剤

15秒以内に注入が完了すると2回目の確認音が鳴ります。薬液確認窓が黄色に変わったら注入完了です。

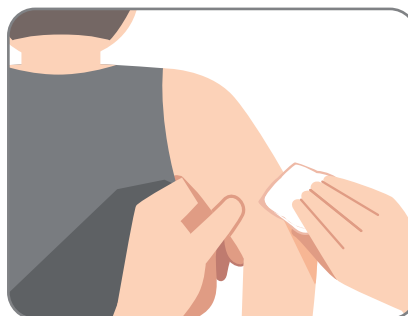
320mg製剤

注入開始から15秒以内に2回目の確認音が鳴り、薬液確認窓が黄色に変わります。その後もオートインジェクターを押し付けたまま、ゆっくり5秒数えたら注入完了です。

注入完了を確認したら、注射部位からオートインジェクターをまっすぐ引き抜きます。針刺し防止のため自動的にニードルガードが針を覆います。

注入が完全に完了するまで体から離さないでください。

4 軽くおさえて止血を確認



アルコール綿で注射箇所を数秒間軽くおさえます。
止血していることを確認して、注射は終了です。

注射したところは揉まないでください。

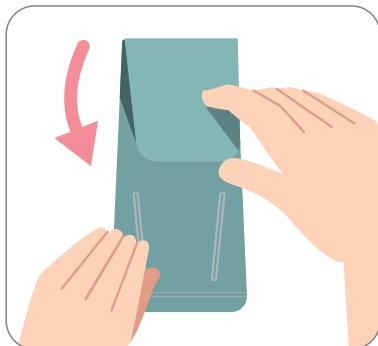
後片付け

① 入れる



廃棄袋のフタを開け、使用済みオートインジェクターを廃棄袋に入れます。

② 閉じる

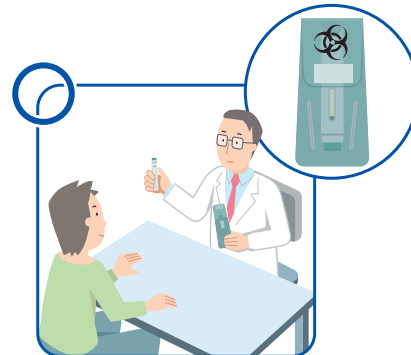


廃棄袋のフタを閉じ、面ファスナーで留めます。

- 注射後は、オートインジェクターに再度キャップをしないでください。
- アルコール綿とキャップは、特に指示のない限り、家庭ごみとして捨ててください。
- 使用済みオートインジェクターは専用の廃棄袋に入れ、小さなお子様の手が届かないところに保管し、医療施設から指示された方法で捨ててください。
- 使用済みオートインジェクターは家庭ごみとして捨てないでください。



アルコール綿、キャップは
家庭ごみ



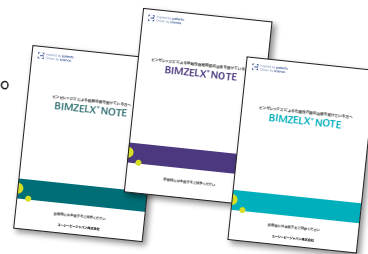
オートインジェクターは
医療廃棄物

● 記録をつけましょう

ビンゼレックス®の注射をはじめた日から、記録をつけましょう。

ビンゼレックス®ノートをご活用ください。
皮膚や関節の状態の変化や副作用の早期発見に役立ちます。

通院時には**ビンゼレックス®ノート**を持参し、必ず主治医に見せてください。



ビンゼレックス®ノート

ビンゼレックス®皮下注160mgシリンジの特徴

どの方向からでも
薬液が見える

薬液の注入状況を確認できます。

注入スティック

フィンガー
グリップ

ヘッド

注入状況が確認しやすい

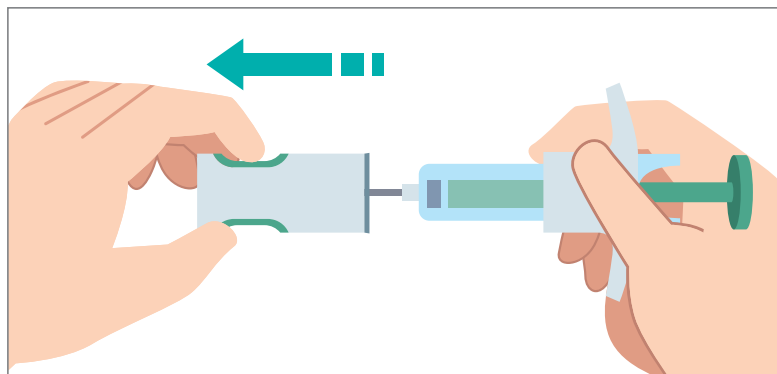


最後まで押し込んだ状態

自動的に本体に針が引き戻される

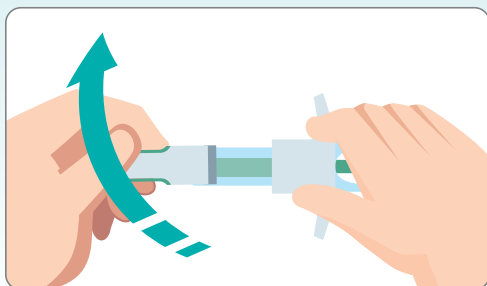


キャップの外し方

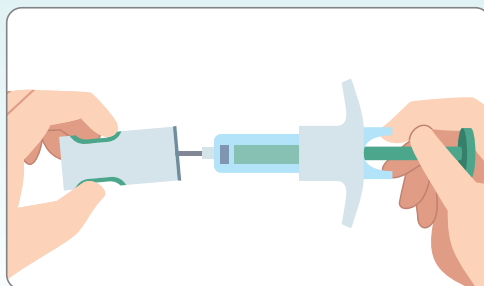


片手でフィンガーグリップをしっかり握み、もう片方の手でキャップをまっすぐ引っ張って取り外します。

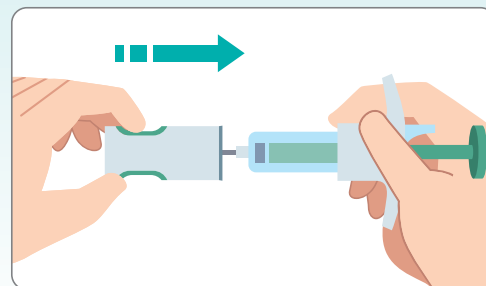
! キャップを外す際の注意点



✗ キャップを外す際には、ひねらないでください。



✗ 注入スティックを持たないでください。

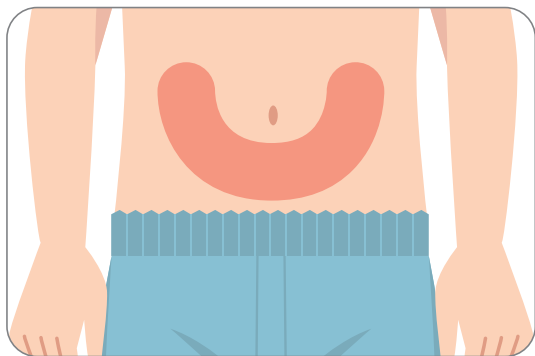


✗ 一度外したキャップを元に戻さないでください。

注射方法【お腹に注射する場合】①

● 注射部位

イスなどに座って、リラックスした姿勢をとります。



へその周囲 (約5cm) は避けてください。

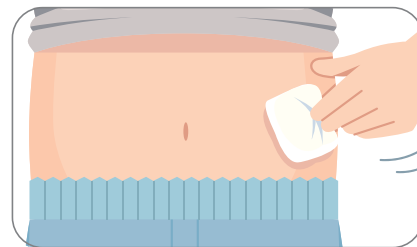
● 注射方法

- 前回とは違う箇所に注射してください。
- 1回の投与で2本打つ場合には、1本目と2本目の注射箇所は少なくとも3cm離してください。

① 注射部位 (皮膚) をアルコール綿で消毒

中心から外側に向かって円を描くように拭き、よく乾燥させます。

消毒した場所は注射するまで触れないようにしてください。



② 安全・清潔にキャップを外す

片手でフィンガーグリップをしっかり握り、もう片方の手でキャップをまっすぐ引っ張って取り外します。

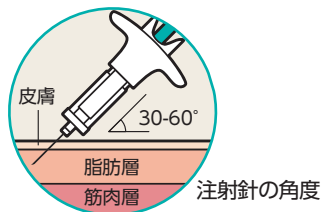
キャップを外したら、なるべく早く注射します。

注射方法【お腹に注射する場合】②

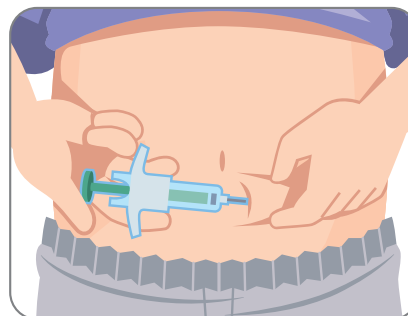
③ 注射針を刺す



注射部位の皮膚を軽くつまみ、片方の手でフィンガーグリップを保持して注射部位に針を斜めに刺します。

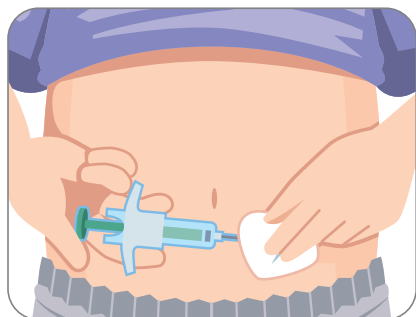


④ 注入する



指でヘッドを押し、薬液をゆっくり注入します。
ヘッドが動かなくなったら注入完了です。

⑤ 抜く

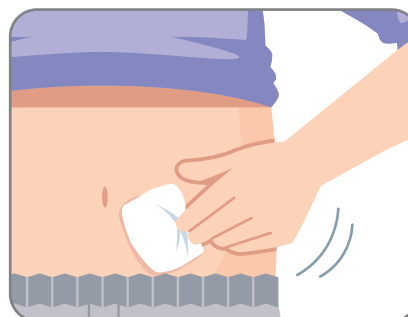


注入が完了したらヘッドを押さえたまま注射針をまっすぐ抜きます。

ヘッドから指を離すと本体に注射針が引き戻され、針刺し防止のための自動ロックがかかります。

注射針を抜く前にヘッドから指を離さないでください。

⑥ 軽くおさえて止血を確認



アルコール綿で注射箇所を数秒間軽くおさえます。

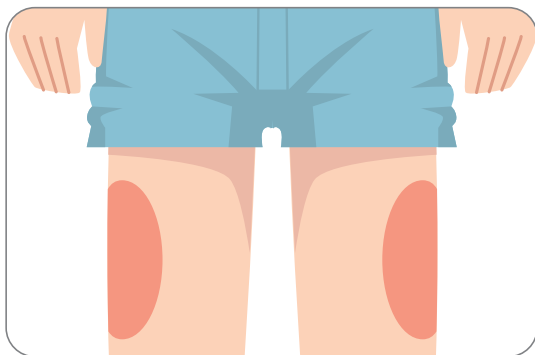
止血していることを確認して、注射は終了です。

注射したところは揉まないでください。

注射方法【太ももに注射する場合】①

● 注射部位

イスなどに座って、リラックスした姿勢をとります。



膝上から5cm、足の付け根から5cmの部分は避けてください。

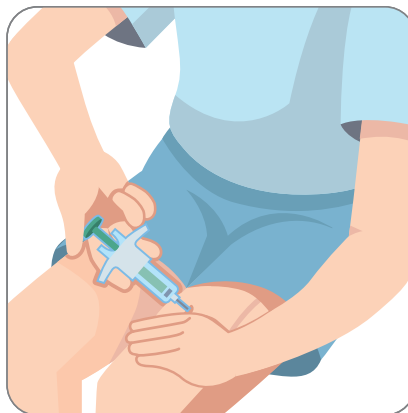
● 注射方法

① 注射部位（皮膚）をアルコール綿で消毒

② 安全・清潔にキャップを外す

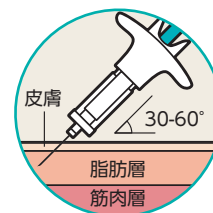
③ 注射部位をつまんで、注射針を斜めに刺す

- 前回とは違う箇所に注射してください。
- 1回の投与で2本打つ場合には、1本目と2本目の注射箇所は少なくとも3cm離してください。



注射針の角度は30～60度です。

注射針を刺す角度は医師、看護師にご確認ください。



注射針の角度

注射方法【太ももに注射する場合】②

④ 注入する



指でヘッドを押し、薬液をゆっくり注入します。
ヘッドが動かなくなったら注入完了です。

⑤ 抜く



注入が完了したらヘッドを押さえたまま注射針をまっすぐ抜きます。
ヘッドから指を離すと本体に注射針が引き戻され、針刺し防止のため自動ロックがかかります。
注射針を抜く前にヘッドから指を離さないでください。

⑥ 軽くおさえて止血を確認



アルコール綿で注射箇所を数秒間軽くおさえます。
止血していることを確認して、注射は終了です。
注射したところは揉まないでください。

本人以外が注射する場合①

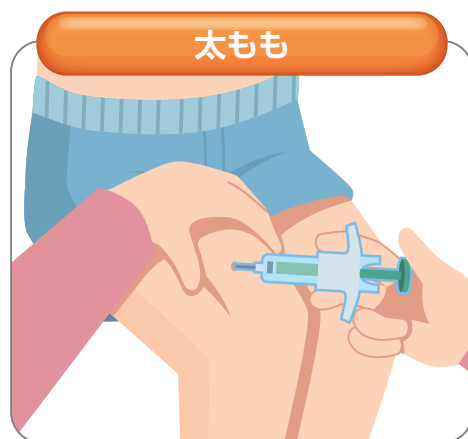
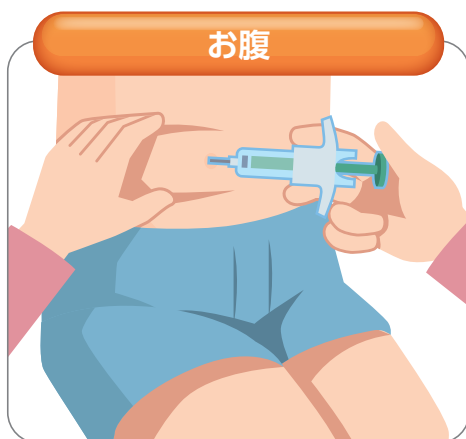
● **注射部位・注射方法** 本人以外が注射をする場合でも、注射方法の指導を必ず受けてください。

① **注射部位（皮膚）をアルコール綿で消毒**

② **安全・清潔にキャップを外す**

③ **注射部位をつまんで、注射針を斜めに刺す**

- 前回とは違う箇所に注射してください。
- 1回の投与で2本打つ場合には、1本目と2本目の注射箇所は少なくとも3cm離してください。

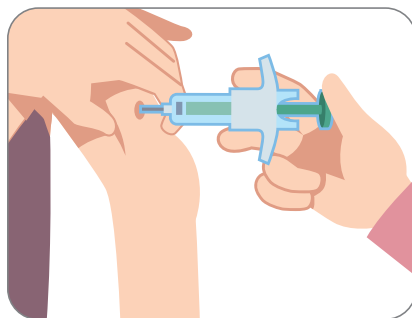


- 腕を直角に曲げて、もう片方の手で支えます。または腰に手を当てて腕を安定させます。
- 肩の先から肘の先を3等分し、肘側から1/3あたりが注射部位です。
- 二の腕の後ろ側に注射します。

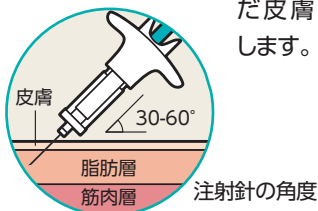
本人以外が注射する場合②

● 注射方法【二の腕に注射する場合】

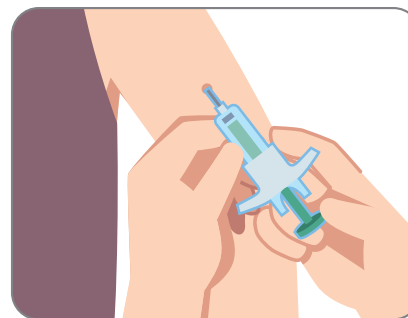
① つまんで注射針を刺す



注射部位の皮膚を軽くつまみ、片方の手でフィンガーグリップを保持して注射部位に注射針を刺し、つまんだ皮膚を離します。

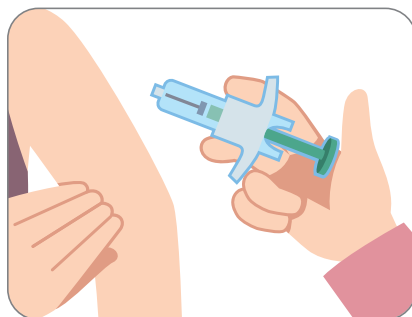


② 注入する



指でヘッドを押し、薬液をゆっくり注入します。
ヘッドが動かなくなったら注入完了です。

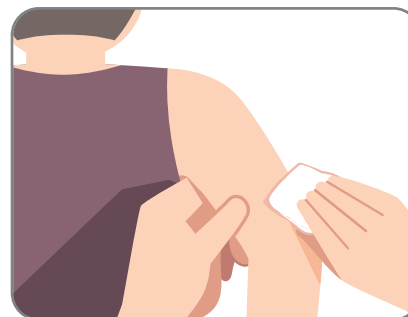
③ 注射針を抜く



注入が完了したらヘッドを押さえたまま注射針をまっすぐ抜きます。
ヘッドから指を離すと本体に注射針が引き戻され、針刺し防止のため自動ロックがかかります。

注射針を抜く前にヘッドから指を離さないでください。

④ 軽くおさえて止血を確認



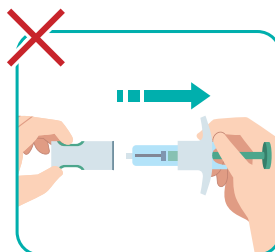
アルコール綿で注射箇所を数秒間軽くおさえます。

止血していることを確認して、注射は終了です。

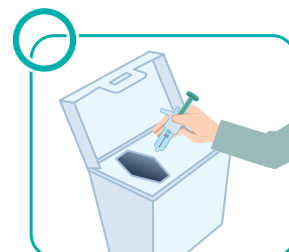
注射したところは揉まないでください。

後片付け

- 注射後は、シリンジに再度キャップをしないでください。
- アルコール綿とキャップは、特に指示のない限り、家庭ごみとして捨ててください。
- 使用済みシリンジは専用の廃棄ボックスに入れ、小さなお子様の手が届かないところに保管し、医療施設から指示された方法で捨ててください。
- 使用済みシリンジは家庭ごみとして捨てないでください。



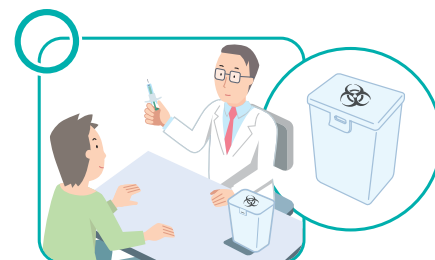
再度キャップをしない



専用の廃棄ボックスに入れる



アルコール綿、キャップは
家庭ごみ



シリンジは医療廃棄物

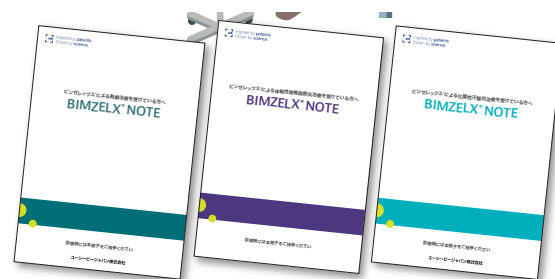
● 記録をつけましょう

ビンゼレックス®の注射をはじめた日から、記録をつけましょう。

ビンゼレックス®ノートをご活用ください。

皮膚や関節の状態の変化や副作用の早期発見に役立ちます。

通院時には**ビンゼレックス®ノート**を持参し、必ず主治医に見せてください。



ビンゼレックス®ノート

注射の痛みを和らげる方法

● 以下を参考に、ご自分に合う方法で注射の痛みを和らげる工夫をしてみてください。オートインジェクターとシリンジどちらにも使える方法です。

- 皮下脂肪が厚い、ふくよかな部位に注射してください。
- 緊張していると痛みを感じやすいため、痛みを和らげやすくなるようリラックスした姿勢や深呼吸して注射すると良いでしょう。
- アルコール消毒で濡れたままの状態に注射しないでください。濡れた状態で針を刺すとしみる可能性があります。
- 薬液が冷たいと一般的に痛みを感じることもあるので、必ず室温に戻してから注射してください。
- 注射する箇所の感覚を鈍くするために、注射部位を1～2分ほど保冷剤などで冷やしてください。冷やした後、消毒してください。注射部位を注射前に温めることで痛みが和らぐこともあります。

自己注射に関するQ&A

ビンゼレックス®全般について

Q1 注射する時間はいつが良いですか？

A1 注射は1日のうちいつ行っても構いません。ただし、忘れないように毎回同じ時間に決めておいたほうが良いでしょう。主治医とご相談ください。

Q2 注射し忘れた場合はどうしたら良いですか？

A2 主治医に連絡をとり、指示を受けてください。

Q3 注射予定日に注射することができない場合、どうしたら良いですか？

A3 旅行をするなど、あらかじめ注射をするのが難しいことがわかっている場合は、主治医に相談し、指示を受けてください。

Q4 注射する部位はどのように決めたら良いですか？ もしくは、毎回同じ部位に針を刺しても良いですか？

A4 皮膚症状（赤み、発疹、フケのようにポロポロと剥がれ落ちる状態、皮膚が少し盛り上がっている、硬くなっているなど）やケガ、痛みがある部位は避けてください。また、前回と同じ部位でも違う箇所注射してください。自己注射の指導を受ける際に主治医や看護師に皮膚の状態をみてもらい、ご相談ください。

Q5 なぜ室温に戻す必要があるのですか？

A5 薬液が冷たいと痛みを感じやすくなるからです。

自己注射に関するQ&A

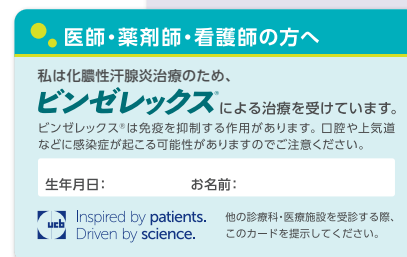
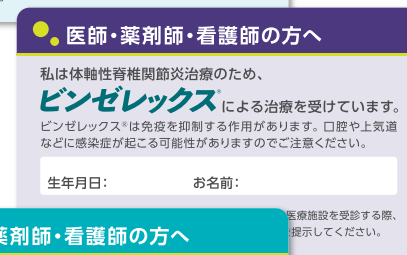
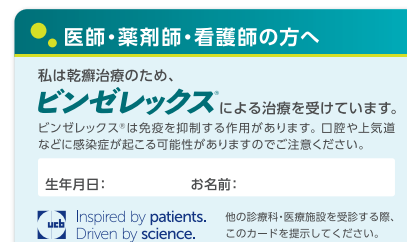
ビンゼレックス®全般について

Q6 ビンゼレックス®を保管する際の保管場所と温度はどうしたら良いですか？ 温度を逸脱した製品を使用できますか？

A6 医療機関で受け取ったお薬は注射をするときまで、光の影響を防ぐため外箱のまま、凍結を避けて冷蔵庫（2～8℃）で保管してください。冷蔵庫から取り出した場合は、光の影響を防ぐため、お薬を外箱のまま25℃以下で保管し、使用期限を超えない範囲で30日以内に使用し、再び冷蔵庫に戻さないようにしてください。

Q7 災害に備えるために、どのような対策をすると良いですか？

- A7**
- 医師と相談し、余分に持っておくことも検討しましょう。
 - 病名、合併症、服用中の薬剤名を把握しておきましょう。
治療歴や病状を伝えられるもの（ビンゼレックス®ノートや投薬提示カード）を携帯しておくように心がけましょう。お薬のメモをお財布に入れたり、携帯電話で写真を撮っておくことも、もしものときに役に立ちます。
 - 停電に備えておきましょう。
ビンゼレックス®などの冷蔵保存が必要な薬剤の保管に備えて、保冷剤を凍らせておくようにしましょう。ただし、ビンゼレックス®を冷凍庫に入れたり、凍らせたりしないようにしてください。



ビンゼレックス®投薬提示カード

自己注射に関するQ&A

オートインジェクターをご使用の方へ

Q1 オートインジェクターが押せない(動かない)場合はどうしたら良いですか？

A1 オートインジェクターを箱に戻して、主治医や看護師、薬剤師にご連絡ください。

Q2 体に当てる前にオートインジェクターが作動してしまった場合はどうしたら良いですか？

A2 誤ってオートインジェクターが作動した場合、終了するまで薬液が流出します。薬液を止めようとするなどはせず、流出が終わるまで触れずにそのままにしてください。注射は行わず、主治医に連絡をとり、ご相談ください。

Q3 注入が終わる前に体から離してしまった場合はどうしたら良いですか？

A3 体からオートインジェクターを離すと、ニードルガードが注射針を保護しロックされます。終了するまで薬液が流出しますが、薬液を止めようとするなどはせず、流出が終わるまで触れずにそのままにしてください。注射は行わず、主治医に連絡をとり、ご相談ください。

Q4 注射針は見えないのですか？

A4 オートインジェクターは針先がニードルガードで覆われているため、注射針は見えません。

自己注射に関するQ&A

シリンジをご使用の方へ

Q1 シリンジの針を誤って指に刺してしまった場合はどうしたら良いですか？

A1 そのシリンジを再び刺すのはやめてください。シリンジに残っている薬液の残量を確認し、主治医に連絡をとり、ご相談ください。

Q2 注射の途中で、皮膚から針が抜けてしまった場合はどうしたら良いですか？

A2 そのシリンジを再び刺すのはやめてください。シリンジに残っている薬液の残量を確認し、主治医に連絡をとり、ご相談ください。

● 自己注射の解説動画のご紹介

ビンゼレックス®を安全に正しく自己注射するための手順とポイントを動画で解説しています。

詳しくは、下記の二次元バーコードよりご覧いただけます。

オートインジェクター

160mg製剤



320mg製剤



シリンジ

160mg製剤



緊急時の連絡先

製品についてのお問い合わせは

UCB**Cares**®

ユーシービーケアーズ コンタクトセンター

TEL : 0120 - 093 - 189

受付時間 9 : 00 ~ 17 : 30 (土日・祝日・会社休日を除く)

ユーシービージャパン株式会社